

# Amazonビジネス大学勉強会コミュニティ JABDAI



2022年9月7日  
学校法人阪南大学 法人部施設課 井上

所属：学校法人阪南大学 法人部 施設課

氏名：井上敦友

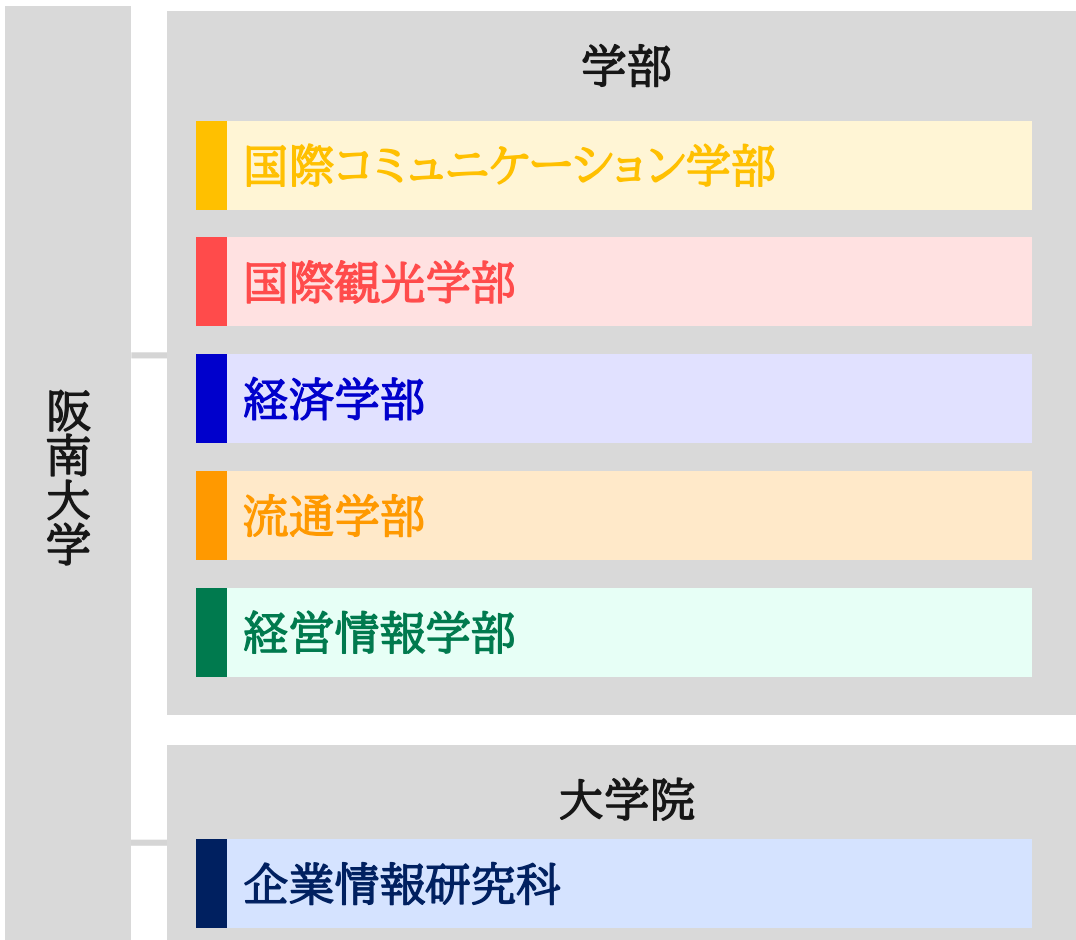
年齢：35歳

出身：大阪府

## これまでに経験した部署

教務課（3年）→総務課（8年）→施設課（2年目）

## 大学組織図



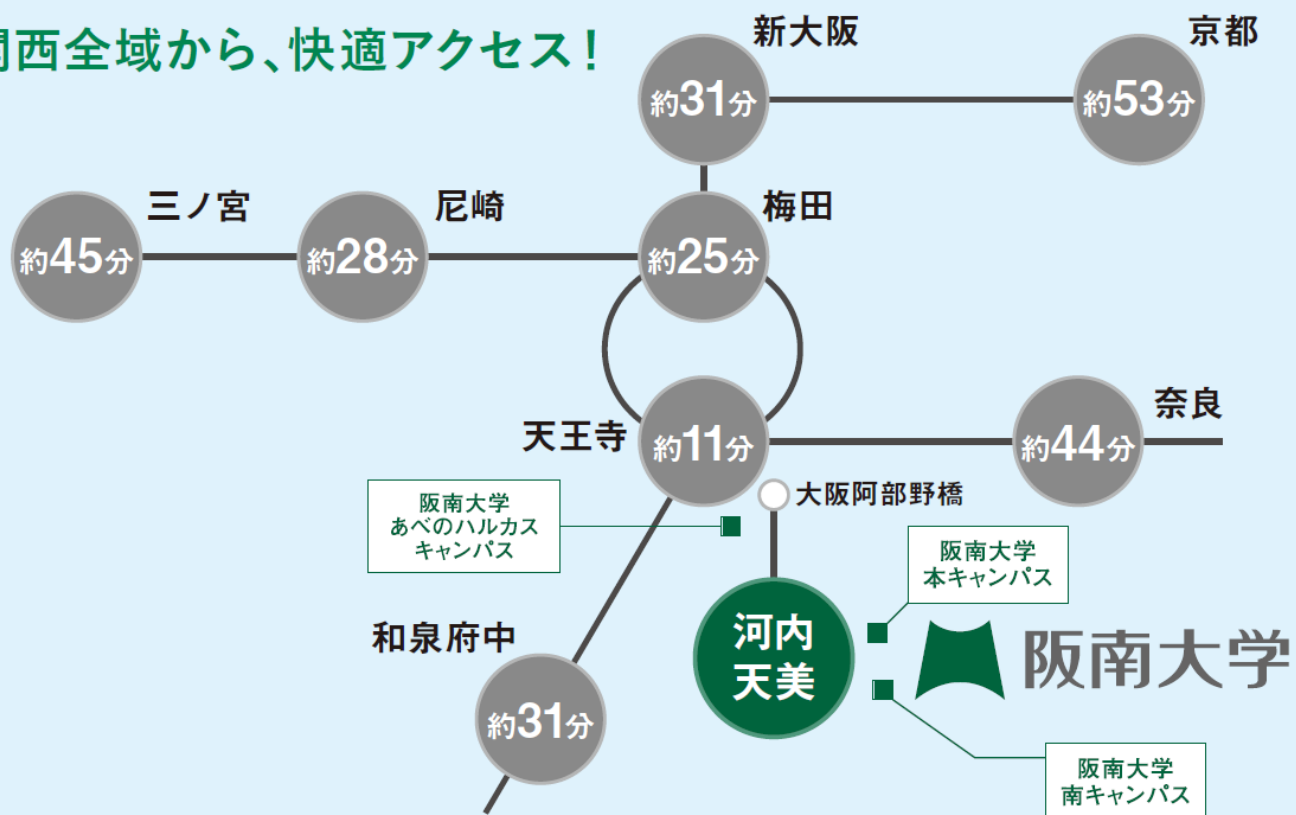
## 大学概要

開設	1965年
所在地	本キャンパス   大阪府松原市天美東5-4-33 南キャンパス   大阪府松原市天美南1-108-1 あべのハルカスキャンパス   あべのハルカス23階
学生数	学部生 : 4,556名 ※ 大学院生 : 26名 ※
教員数	専任教員数 : 111名 ※ 非常勤講師数 : 184名 ※
建学の精神	すすんで世界に雄飛していくに足る 有能有為な人材、真の国際商業人の育成
大学の使命	阪南大学は、自由と清新の気風のもと、チャレンジ精神旺盛な意欲ある学生を育て、幅広い教養を持つ国際的なビジネスパーソンとして成長させることを使命とします。

※ 2022年5月1日現在

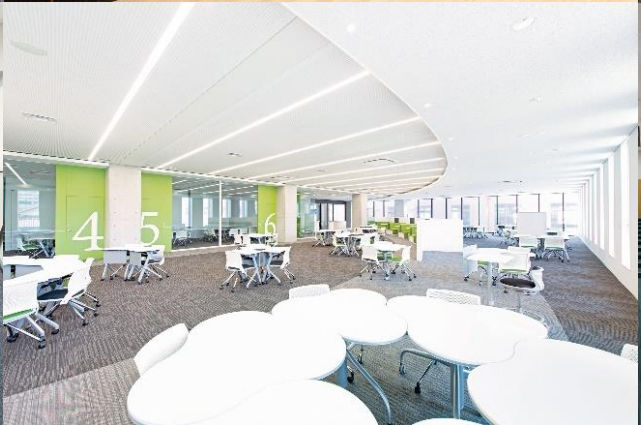
最寄駅から徒歩5分！天王寺から徒歩を含み20分以内！

関西全域から、快適アクセス！





本キャンパス  
-大阪府松原市-  
知的活動をサポートする  
最新の施設を備えた都市型キャンパス





## 南キャンパス

-大阪府松原市-

国際観光学部学びの拠点としてふさわしい  
洗練されたデザインと施設を擁する南キャンパス



## 阪南大学 あべのハルカスキャンパス

-大阪市阿倍野区-

日本一の高さを誇る高層ビル「あべのハルカス」23階に開  
設された就職支援・産官学連携拠点



## グラウンド・体育館

日本一を目指すサッカー部が使用する「高見の里グラウン  
ド」、式典や大学祭のイベントでも利用される「GYCホール」  
など、充実した設備で世界で活躍する選手を育成





光と風と緑を感じながら、学び、つながる新拠点。

**本学最大！** 実践的学修を叶える新校舎が誕生。



アクティブラーニングやBYODに対応した  
様々な教室！

開放感あふれる  
緑化テラス！



学生の意見を取り入れた  
パウダーコーナー！



学生の憩いと交流の場  
コモンスペース！



## ◆伝票をペーパーレスで運用 (Dr. Budget)

- 以前までは年間2万件以上の伝票を手書きで作成
- それぞれに捺印を実施
- 手作業による作成ミス
- 紙伝票のファイリング作業



## ◆電子伝票システムと会計システムを連携

- 伝票作成から支払い処理のプロセスが効率化
- 同時にデータが会計システムにおいて自動仕訳  
決算業務にかかる時間削減

1. 導入しようとした時のこと
2. 導入までの準備について
3. 導入時の課題
4. 運用フロー・実現できたこと
5. 今後の課題

# 1. 導入しようとした時のこと

## 2. 導入までの準備について

## 3. 導入時の課題

## 4. 運用フロー・実現できたこと

## 5. 今後の課題



◆なぜ、調達システムを導入しようと思ったのか？

調達業務が面倒くさかった。

## ◆調達にかかる人的コストが多すぎる

- 調達はすべて施設課が行うという学内ルール
- 前任者は、調達業務のみ行っていた
- そんな時間はない



## ◆それまでの調達業務とは？

- 各課が電子伝票にて品物を記載して起案
- 施設課職員が複数サプライヤーで  
価格を比較して発注
- 調達にかかる時間が担当者に依存
- こんなことやってられない

**◆調達業務にかかる負担を減らしたい！**

1. 導入しようとした時のこと

2. 導入までの準備について

3. 導入時の課題

4. 運用フロー・実現できたこと

5. 今後の課題



### ◆まずは、調達システムを調べる。

→本学が使用している電子伝票システムと  
連携できるものはないか

→効率を考え、システムを増やしたくはなかった

### ◆電子伝票システム (Dr. Budget)

- 伝票をペーパーレスで運用
- これまでは調達システムを入れずに使用
- 外部調達システムと連携が出来る

### ◆Amazonビジネスを選んだ理由

- 品数が多い
- 価格が安い
- プライベートでAmazonを使用している人が多い
- Amazonで調べた価格を言ってくる人が多かった

### ◆Amazonビジネスに問い合わせ

- すぐに担当をつけていただき  
親身にサポートをしていただいた
- 購買データを渡してシミュレーション
- 他大学様の事例紹介や、導入している大学様に  
繋いでいただいた

### ◆学内調整を行う

- 企画書を作成し、理事まで承認を得て予算確保
- 教員も含めると時間がかかりそうなので  
まずは事務局での運用開始で進めた



### ◆学内説明会を実施

- マニュアル等の作成
- アルバイト職員や派遣職員も対象に説明会を実施

**◆2021年8月に運用を開始**

1. 導入しようとした時のこと

2. 導入までの準備について

3. 導入時の課題

4. 運用フロー・実現できたこと

5. 今後の課題

## ◆電子伝票への添付データについて

- Dr, Budgetに請求書の添付が必須
- Amazonビジネスでは月に1回まとまって発行
- 発行されるまで伝票処理が出来ない

## ◆購入明細書を請求書の代わりとして対応

amazon.co.jp

注文番号250-2656077-9003816の購入明細書

支払者： 阪南大学  
注文者： XXXXXXXXXX  
注文日： 2022年6月8日  
注文番号： 2022-100938  
Amazon.co.jp 注文番号： 250-2656077-9003816  
ご請求額： ￥ 102,800

2022年6月8日に発送済み

注文商品

税込価格

1 点 HP ノートパソコン 13.3インチ IPSディスプレイ 軽量957g AMD Ryzen5 16GB 512GB SSD HP Pavilion Aero 13-be  
ピンクベージュ Windows

¥ 102,800

販売： ディーオーショップ ([出品者のプロフィール](#))

コンディション： 新品 「迅速」「丁寧」「安心」「確実」にお届けします。(※Amazon

プライム会員の方及びご購入金額が2000円以上

の方は全国送料無料で配送致します。) 新品未使用未開封商品ですが、パッケージや外箱等にスレや小傷等がある場合も

ございますので、予めご了承ください。 配送確認・返品・返金等のお問い合わせにつきましても、Amazon.co.

jpカスタマーサービスが丁寧に対応させていただきますので安心してご購入ください。

お届け先住所



## ◆すべてがAmazonビジネスが安いとは限らない

- 導入当初は、Amazonビジネスと  
他サプライヤーで価格を比較しながら使用
- オフィス用品は他サプライヤーの方が安い

#### ◆見積書が発行できなかった

→20万円以上は相見積書が必要

→当初は発行できなかったが改善された

1. 導入しようとした時のこと
2. 導入までの準備について
3. 導入時の課題
4. 運用フロー・実現できたこと
5. 今後の課題

# 運用フロー

大学名：学校法人 阪南大学

Amazonビジネス導入主幹部署： 法人部 施設課

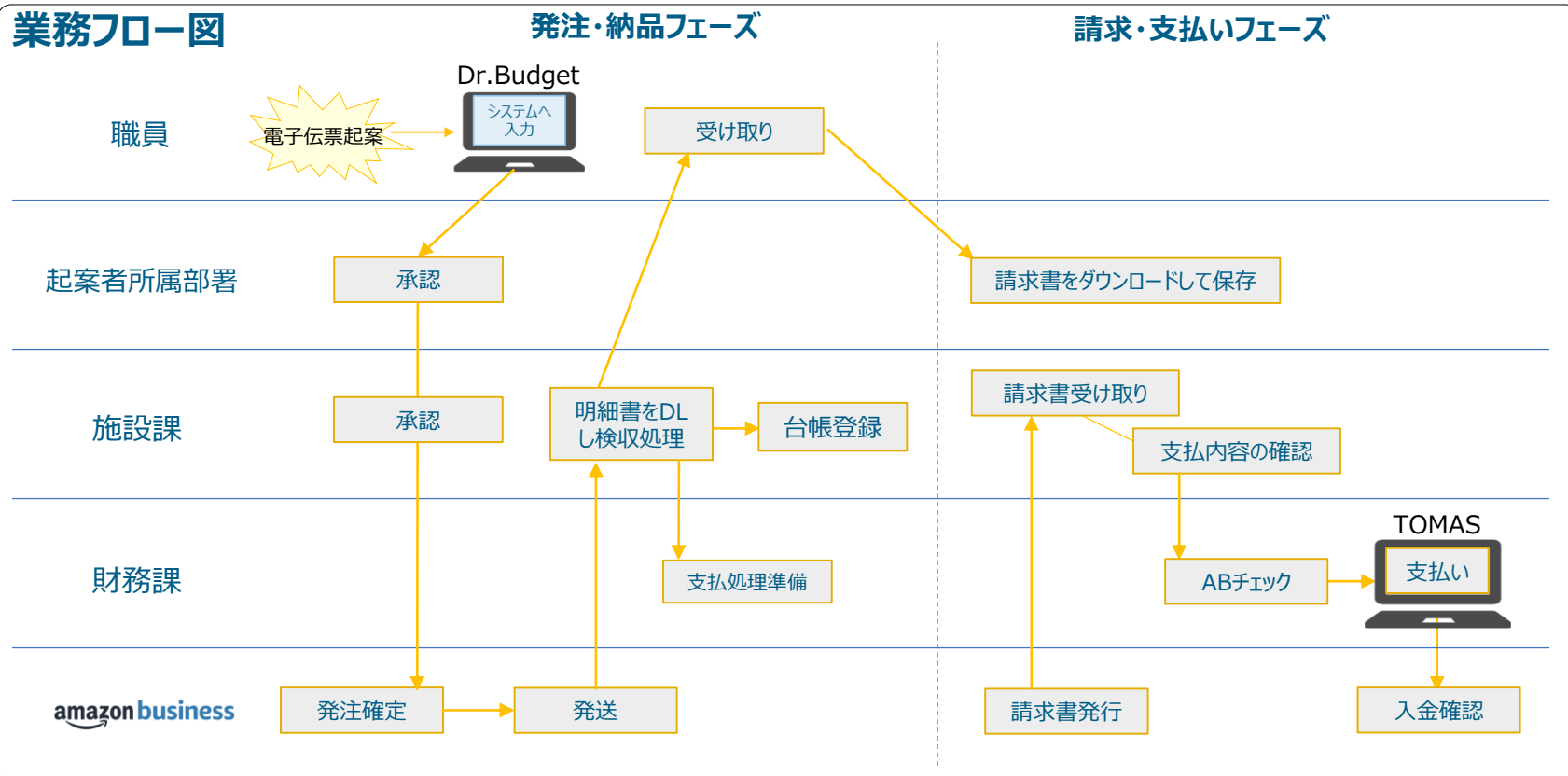
## Amazonビジネス導入目的：

立替精算の削減、調達業務の効率化、調達コストの削減  
サプライヤーとしてAmazonを利用したい 等

アカウント構造： システム連携、職員購買先行

全学導入時期： 2022 年10月頃予定

## 業務フロー図



## 導入時のポイント：

本学の支払いルール上、請求書の添付が必ず必要です。電子伝票は、注文ごとに伝票が分かれています。Amazonビジネス導入時は、個別で請求書を発行できませんでした。

月末に1ヶ月分の請求書が発行されるまで、請求書を添付できず、施設課に伝票が大量に止まってしまう状況となります。また、財務課でその請求書を確認するのが大変です。そこで、会計士とも相談し、注文ごとにダウンロードできる「購入明細書」を請求書代わりにすることで伝票の流れをスムーズに出来ました。

教員利用が始まった際は、教員に立替払いをさせないための工夫、すべての荷物が事務所に届くことによる業務負担について考える必要があります。また、現状、オフィス用品が他サプライヤーの方が安いので、購入していますが、大半がAmazonビジネスで完結すると、業務効率はさらに上がるので、期待したいところです。

### ◆調達コストが大幅に削減

→前年度比較で約950万円コストダウン



### ◆調達にかかる時間が大幅に改善

- 起案者がAmazonビジネスにて商品まで選択している
- 商品を探す手間・誤発注がなくなる
- 人的コストも大幅に削減

### ◆請求書のペーパーレス化

→購入明細書が即時ダウンロードできる  
請求書待ちの時間がなくなった

### ◆学内での評判が非常に良い

- 自分で商品を選択できる
- 納品日が見える化
- 納品スピードが早い
- 調達コストダウンが出来た

1. 導入しようとした時のこと
2. 導入までの準備について
3. 導入時の課題
4. 運用フロー・実現できたこと
5. 今後の課題

### ◆教員も含めて全学利用を開始

- 立替精算業務の負担が非常に多い
- 研究費の不正利用防止にもつながる
- 配達量が増加する見込み

ご清聴ありがとうございました。